

「ソロモン諸島訪問は、日本国民としての自覚と責任が問われた」

2023年11月、福井県遺族連合会代表として参加された中川文雄さんにお聞きしました。



【父親を避けて生きてきた】

— 父君はソロモン諸島※1でお亡くなりなられたとお聞きしました、思い出はありますか。

(中川さん) 父の出征が決まった後、私が生まれたので記憶がまったくない。母は再婚で名前が変わっていた。

※1：ソロモン諸島はパプアニューギニアの東側にある国で1978年英国保護領から独立、面積は福井県の約7倍、人口は福井県より若干少なく約68万人

— どういった状況でお亡くなりになられたのですか。

(中川さん) 日本遺族会が調べており、推定であるがその状況を聞いた。1942年11月、ガダルカナル島の戦い※2での補給のための輸送船団を指揮していた佐渡丸の船舶通信隊の一員として、ラバウルを出港、ガダルカナル島へ向かう途中、制空権を失っていたので大編成の米国航空機の襲撃を受け、そのときに船上で直撃弾により戦死したようだ。

※2：ガダルカナル島で1942年8月から1943年2月まで約半年間、主に米国海兵隊と日本帝国陸軍によって争われた戦争、後に「ガダルカナルとは米国の墓地の名前である」と言われたように、日本帝国陸軍の直接戦闘死亡者よりも餓死による死亡者数が多いという悲惨な戦争であった。

— お亡くなりになった場所はわかったのですか。

(中川さん) ガダルカナル島とフロリダ諸島間の非常に深い海底海峡のあたりだったようだ。そのため、ガダルカナル島北方約20kmの地点の船舶上で、慰霊祭を行った。この海峡周辺では少なくとも13隻の日本輸送船が撃沈されたようだ。遺骨が兵庫県尼崎市の実家にもとったときなぜか骨壺の中はコークスが入っていた



という。当時生後7か月であった。その後82年間、あまり良いことがなかったため、父親を考えることを避けて生きてきた。しかし、年齢的にもこれが最後だと思い、慰霊友好親善事業に参加した。

【現地では中国の存在感に反発もある】

— ガダルカナル島の自然や人々はどんな状況でしたでしょうか

(中川さん) 2017年ソロモン諸島は世界で一番空気が澄んだ国だと世界保健機構(WHO)が発表した。東西150km、南北45kmの島で、中央部には2000m級の山があり、アマゾンの密林のようにになっている。メラニア系の原住民※3は、ほとんど裸の生活をしている。電柱や信号がないのにはびっくりした。日本からの観光客は少なく、ほとんどが遺骨収集のようだ。

※3：最終氷河期(約2万年前)には海水面が現在より100m以上低く、インドネシアやパプアニューギニアは陸続きであったと考えられ、そこに住んでいたラピタ人の末裔と考えられる。航海技術にたけており遺伝子的にも近いことから、日本人の先祖である縄文人との関係が着目されている。

— 国としてのソロモン諸島は、2019年に台湾と国交断絶して、完全に中国の影響下となりましたが、現地の状況はどうでしたか。

(中川さん) 競技場やスーパーなど大きな施設はみんな中国が作業員を連れてきて建設したものだそうだ。2021年に親中国派の大統領に反発するデモから中国人居住区域の焼き討ち事件が起き、従来から治安を担ってきたオーストラリアの治安部隊が乗り込み、その3か月後に中国の治安部隊が駐留した。

— 使用済やMOX燃料の輸送上にあるため、その昔、この海域は日本の原子力の生命線と呼ばれたことがありました。

(中川さん) 日本大使館の話だと現地人の日本人への好感度は高いそうだ。現在、自衛隊が不発弾処理をしている。

【飢えに苦しんでも略奪はしなかった】

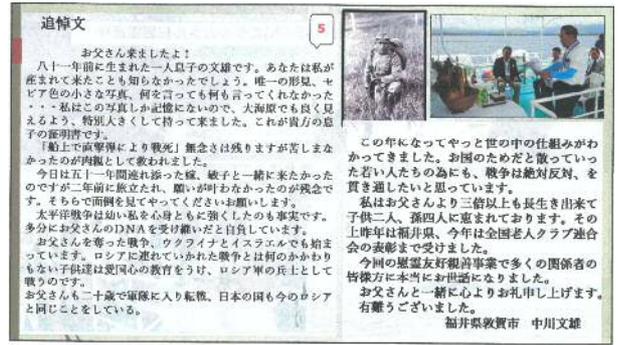
— 「失敗の本質」という本のガダルカナル作戦の評価をみると、東京の大本営の参謀でさえ「ガダルカナル」がどこにあるのかさえ知らない状況だったようです。

(中川さん) 米国の兵力を過少評価したことと兵站の確保に注力しなかった東京の大本営のミスだ。大本営で海軍と陸軍が責任のなすりつけあいがおき、結局撤退命令が実行されるまで4か月かかった。その間、兵站の断たれた現地では食料不足が起き、餓死やマラリアなど感染症による死者が後を絶たない状況となった。

この状況でも、東京の大本営は「目的を達した。他の地域に転進した」と偽りの報道を流し続けた。



— 「お父さんより三倍以上長生きした」すばらしい追悼文だと思います。



— ウィキペディアによると日本兵の戦死者数 8,500 に
対し米兵死者数 7,100、負傷者数 7,789 とほぼ互角と言
ってよく、一方日本兵のみの餓死・病死数は 11,700、
このことは、ガダルカナルの戦いの本質を表している
ように見えます。

(中川さん) ガダルカナルはバナナやヤシの実など食料は
豊富にあるようだ。ところが、それらの樹木には、所有
者名が書いてあり、それを食すると略奪行為になる、日
本人としてそれは絶対にできないという判断が働いた
のであろう。

— スペインはインカ帝国を征服しアンデス文明と原住
民族を滅ぼしましたが、日本人はそういったことをして
こなかったという証拠だろうと思います。たぶん、パラ
オのように、原住民を日本軍がいない地域にあらかじめ
移したのだらうと思います。

【日本国民としての自覚、責任】

— 今回のガダルカナル島慰霊友好親善で訪問されて、最
も感じられたこと、後世に伝えたいことは何ですか

(中川さん) 私のような境遇に合う人をなくすために、ウ
クライナでの戦争、中東ガザ地区での戦争、一刻でも早
く停戦を求めたい。それと、こんな悲惨な目にあった国
民としての自覚と責任において、絶対に戦争はしないと
いう決意が重要だ

第二次世界大戦の戦没者慰霊も後 1~2 年で終了予定、
ご親族に戦没者がいらっしゃる方は、思い切って参加さ
れた方が良いでしょう

— すばらしい体験談、ありがとうございました。

聞き手

認定 NPO 法人ワネッツ 岩崎良人
(2024 年 5 月 1 日 敦賀市野坂のご自宅にて)

【遺骨収集ができていないのには愕然】

— 4 年前はガダルカナル戦 80 年ということで、国内で
かなりの報道がなされており、その中に現地の人が「遺
物はこんなにある」と言っている場面が映っていました。
遺骨の収集もほとんどできていないようですね。

(中川さん) 政府の資料によると、戦没者数 22,000 で収集
遺骨数は 13,225、戦後 80 年経ってしまだにこのような
状況とは、話を聞いて愕然とした。

政府の遺骨収集は 30 年くらい前に終え、今は民間団
体が実施しているようだ。

— お戻りになっての報告会で「ラバウル小唄」について、
お話されていましたが

(中川さん) 祖父が歌っていたので、よく覚えている。信
託統治していたオーストラリア軍と闘って勝ち、ソロモ
ン諸島(ガダルカナル島)へ侵攻する拠点を築いた。

— 「アアああので あの顔で・・・」で始まる「暁に祈
る」についても報告会で曲を流されたようですね

(中川さん) 当時はやっていたものだが、この曲も胸に迫
るものがあつた。ただ、船上での慰霊のときは「ウサギ
追いしかの山・・・」(故郷)をみんなで合掌した。

【お父さん、きましたよ!】

— 海底海峡の慰霊祭で、追悼文を捧げられたのですね

(中川さん) 母 20 才、私 7 か月、父親の記憶は何も残っ
ていなかった。正直、書けと言われて書いたものだが、
亡き父には何も伝わらないと思いつつ、追悼文を書く自
分が恥ずかしい思いがした。

P.S 先の大戦の状況について、物量で圧倒的に勝る連合
国軍に対して旧日本軍は精神論で無謀な戦いを行った
という認識が定着しています。しかし、その後、当時の
米国やロシアの外交文書の機密解除がなされ、「無謀」
といった認識と異なる状況が明らかになっています。

今回のガダルカナル戦もそうですが、直接の人的物的
損失はそんなに一方的な状況ではありませんでした。

東京大空襲を行った B-29 は 300 機近く撃墜されて
おり、米軍として「決死」の空爆でした。近代化した旧ソ
連軍にスコップと火炎瓶で応戦したとされるノモンハ
ン事件、旧ソ連軍の戦車から油漏れしているのを見つけ
た上の対応で、損害は旧ソ連軍より少ないものでした。

先の戦争を美化する訳では決してありませんが、例え
ば満州国のように、敗戦国は民族として存続できない
状況になることは歴史が証明しています。

先の大戦、日本は「敗戦」ではなく「終戦」です。そ
れができたのも、先祖の皆様が命をなげうって戦って
いただいたおかげです。

中川さんのご尊父を始め、戦没者の皆様に、衷心より
感謝と哀悼の誠をささげたいと思います。